

『地震及び地震保険について』 奥 忠 道 会 員

11月 2日、産経新聞の朝刊に大きく「木造家屋密集、阪神大震災の 6.5倍大阪直下型なら死者 4万 2千人」との見出しで始まる震源地別の想定パターンが載りました。このうち最も被害が大きい上町断層帯は、大阪府豊中市から大阪市中心部を抜け、岸和田市までの約 43キロを南北に貫くと…。

皆さん、地震対策は十分にされていますか？水道、電気、ガス、電話のない日常生活を考えた事がありますか？

阪神・淡路大震災の震災直後の動き (表 1)と兵庫県内の被害と復旧状況 (表 2)をご覧戴き被災に遭われた方々が当時どのような日々を送られていたのかと。

損害保険の中でも地震保険は公共性の高い保険です。(表 3)

また、保険金の総支払い限度額は 1回の地震で 5兆円 (2007年 9月現在)に設定されています。

地震保険の支払いでは、阪神・淡路大震災の保険金支払いが過去の最高額 783億 469万円になっています。(表 4)

表 1 【震災直後の動き】

日 付	主な出来事
1月 17日 (火)	5: 46 近畿地方で強い地震発生 5: 55 大阪管区气象台発表 震源地は淡路島北部・マグニチュード 7.2と推定、京都などで震度 5と発表 6: 00 関西の新幹線・JR・私鉄・名神・阪神各高速道路全面ストップ 10: 00 兵庫県知事が自衛隊に出動要請 16: 00 村山首相が緊急記者会見、「人命救助に万全を期す」と表明 ライフライン 100万戸停電・ガス 84万戸供給停止・127万戸断水・電話 285千回線不通
1月 18日 (水)	道路交通法に基づく国道 2号線の交通規制開始。緊急輸送ルートの確保
1月 19日 (木)	村山首相現地視察。記者会見で「補正予算を組んで復興資金を確保する」との方針を発表
1月 20日 (金)	神戸市内で、前夜から 10数件の火災が発生 日銀神戸支店で、都銀など 13行の預金払戻を開始 村山首相国会で復旧・復興に万全の措置を講ずる旨の施政方針演説 気象庁現地調査で、神戸市の一部と淡路島北部の震度を 7と判定
1月 21日 (土)	兵庫県災害対策本部がこの日まで判明した被害総額を 5兆 8400億円と報告 神戸市消防局、神戸市内の焼失面積が 100ヘクタールを超えたと発表 神戸で震度 3の余震
1月 22日 (日)	兵庫県南東部と淡路島に大雨・雷・強風・波浪注意報発令 気象庁が余震 1000回・有感余震が 105回に達したと発表
1月 23日 (月)	休校中の小・中学校・高校 440校の内約 180校が登校を再開
1月 24日 (火)	「兵庫県南部地震」に激甚災害法による指定が決定
1月 27日 (金)	村山首相、国会の質疑で大惨事になったことを行政の責任者として陳謝 神戸市で仮設住宅の申し込みが始まる
1月 28日 (土)	県警・自衛隊 15000人による一斉捜索活動が始まる
1月 29日 (日)	神戸市、震災で損壊した家屋解体の申し込み開始。希望者殺到
1月 30日 (月)	兵庫県が「震災復興本部」を設置 仮設住宅入居希望者殺到。兵庫県は被災者全員入居に備え 7万戸確保
1月 31日 (火)	天皇・皇后両陛下が被災地を訪問